

第5次寒河江市振興計画見直し版のポイント ～市民の意見を十分にふまえた、市民主体の計画の見直し～

(1) 将来都市像の見直し(新たな設定)

市民アンケートの結果や地域ワークショップの話し合いなどをふまえ、振興審議会において今後の寒河江市の方向性を審議し、新たな将来都市像を「夢集い 人・緑輝く さくらんぼの都市(まち) 寒河江」と設定。

夢集い: 寒河江の未来が明るく広がり、交流も進むまち

人・緑輝く: 人が生き生きと暮らし、豊かな自然や美しい景観を大切にすまち

さくらんぼの都市(まち): 「さくらんぼの寒河江」をアピールするとともに、さくらんぼのように、小さくてもきらりと輝き、たくさんの人から愛されるまちを目指す。

(2) 重点プロジェクトの設定

特に重点的に推進する施策を、課の枠を越え重点プロジェクトとして掲げ推進。

寒河江の未来を担う子ども育むプロジェクト(地域子育てセンターの整備、医療費無料化の拡大)

「さくらんぼのまち」の魅力拡大プロジェクト(さくらんぼ長期生産体制の確立、イベントの刷新等PRの強化、
伝統野菜等のブランド化の推進)

寒河江の宝 慈恩寺の魅力向上プロジェクト(慈恩寺の国史跡指定を目指した取組み、地区の景観計画策定)

長岡山市民憩いの花咲か山化プロジェクト(長岡山総合整備計画の策定、アクセス道路・駐車場の整備)

安全安心な市民生活推進プロジェクト(地域ごとの防災訓練の実施、地域の見守り体制の整備、デマンド交通導入)

雇用の創出・確保プロジェクト(寒河江中央工業団地アクセス道路の整備等戦略的な企業誘致の推進、企業間・産学官連携の推進)

寒河江の元気づくり(交流拡大)推進プロジェクト(まちなかの活性化、冬季における屋外スポーツ施設の整備)

(3) 具体目標の設定

数値目標を含めた具体目標を設定し、目標達成に向けて計画を着実に推進。

例: 合計特殊出生率の向上、保育所待機児童ゼロ、生活習慣病の死亡率の低下、慈恩寺の国史跡指定、観光客数の増、沼川のBOD値の改善

(4) 市民主体のまちづくりの推進

各地域ワークショップによる話し合いによりまとめられた計画等を活かすべく「地域づくり推進事業」の拡大や市民による行政評価制度を導入し、市民の声をより市政に反映し、市民主体のまちづくりを推進。